

専門部会議事内容結果（要旨）

| | |
|--------|--|
| 専門部会名 | 第7回総務部会 |
| 開催日時 | 平成28年 6月27日 18時30分 ～ 19時30分 |
| 開催会場 | 名寄市役所名寄庁舎4階大会議室 |
| 出席委員 | 長内部会長、中尾副部会長、白井副部会長、高木委員、寺尾委員、梅野委員、稲場委員、姉崎委員、松前委員、扇谷委員、田中委員、熊谷委員、宮澤委員 |
| 事務局出席者 | 臼田部長、佐々木課長、石橋課長、渡辺主幹、菊池主査、山本主事 |
| 審議事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・報告事項 総合計画の構成について ・協議事項 重点プロジェクトについて |
| 発言内容 | <p>● 報告事項</p> <p>事務局より、基本構想、基本計画、実施計画のイメージについて報告。 基本計画で、基本計画の下に位置づけられる実施計画事業を基本計画事業へ名称変更。 理由：委員より実施計画（個別事業）と基本事計画中にある実施計画事業が混合してわかりにくいとの意見が出たため、基本計画事業と変更した。</p> <p>【質疑】 質疑なし</p> <p>■部会長 ・反対意見なく、基本計画、実施計画の分け方をわかりやすくするための変更について、事務局案を採用することとしてよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">委員承認</p> <p>● 協議事項</p> <p>重点プロジェクトについて、事務局より説明。</p> <p>【質疑】</p> <p>■委員 ・2. 安心子育てプロジェクトの指標はアンケートをもとに算出するのか。対象は保護者か。</p> |

- ◎事務局 ・ h25年に市内小学生以下全戸に対して、アンケート実施した。
次回も保護者を対象にアンケートを実施したいと考えている。
- 委員 ・ 回答率はどれくらいか。
- ◎事務局 ・ 回答率は50%強である。
- 委員 ・ 3. 冬季スポーツ拠点化プロジェクトの大会誘致の目標値は、新たに大会誘致するということか。
体協などと連携しなければ、難しい施策であるし、名寄市の支援も必要になるものである。
- ◎事務局 ・ 新たに大会数を増やすという目標である。
ご存じかと思うが、今年度、金メダリストの阿部氏を招へいし冬季スポーツの拠点化を目指している。選手育成はもちろん、人脈を活かした合宿や大会の誘致も考えられる。
また、冬季スポーツの拠点化ということなので、大学と連携し、スポーツ栄養の関係など色々な観点から、支援をしていくため、スポーツ合宿推進課を新設するなど、受入れに向けて体制整備をするために、議論を始めている。
- 委員 ・ 昨年度開催された全国中学スキー大会の宿泊状況は。
- ◎事務局 ・ 市内だけでは、まかない切れず、近隣市町村にもご協力をいただいた。北は中川、南は和寒、西興部まで広域で協力していただいている。中学生の大会で県ごとに宿泊することと、選手・コーチ・応援含め参加者が大変多かったため近隣自治体にも協力を頂いた。今後、開催されるジュニアオリンピックではこの経験を活かし、できるだけ名寄に宿泊いただけるようにしたい。
- 部会長 ・ 「主な実施計画事業」については、先の説明の基本計画事業に変更されるということでしょうか。
- ◎事務局 ・ 主な基本計画事業に記載されている事業は、先ほどお伝えした各部の様式1の基本計画事業にあたる部分を企画課で抜粋したものである。
- 委員 ・ 経済元気化プロジェクトで観光入込客数は何の値を示しているのか。
- ◎事務局 ・ 営業戦略室で把握している統計上の数字である。
- 委員 ・ 旅館組合やイベント入込数などをカウントしている。
また、道の駅もカウントしていると思う。
- 委員 ・ 宿泊数をカウントするとビジネスが多くなっているのではないかと？
公共事業の労働者も多くいると思うが、純然たる観光客数はどのくらいなのか？

| | |
|-------|--|
| | <p>■部会長 ・事務局が確認していますので、先に進めます。他にありますか。</p> <p>■委員 ・総合戦略の大きな柱は、5つ分野から構成されている大学、広域連携は重点からはずれたということか。</p> <p>◎事務局 ・総合戦略の5つの柱については、総合計画に関わらず進めていくものである。 ただ、今回の重点プロジェクトはいくつかの部局で横断的に取り組むものということで考えており、3つとしている。</p> <p>■委員 ・経済分野では、役所の色々な部局が連携して行わなければいけないものがあるので、今回の重点プロジェクトのように連携してやっていくというイメージが出てきたのは、成果と考える。 民間、行政で連携してやっていく仕組みを作って欲しい。 役所の中でチームを作り、そこに市民が参画するなどして進めていただきたい。</p> <p>● その他 前回の宿題 公民と官民の違いについて</p> <p>・これまで、官民連携と表記されてきたが、官は国や行政を示していた。公民連携では、民間団体、民間事業者が公共の担い手となるという意識を持った上で、様々な市民サービスが展開される地域社会を目指すという意味も含めており、より幅広い捉え方のできる「公民連携」を採用した。公民の公は公益団体、公社なども含まれるという認識でいる。</p> <p>■委員 ・公民といっても、特別な法人に限定されるということか。理解した。</p> <p>◎事務局 ・観光入込客数について 宿泊施設、スキー場、北国博物館などの施設や、市内イベント含めた数字を積み上げて、観光協会で集計し、北海道への報告をしている数字。国土交通省の基準で入らないものもあるが、ほぼほぼ積み上げられた数字である。</p> <p>■委員 ・名寄市内の人も入っているのか。</p> <p>◎事務局 ・入っている部分もある。</p> <p>■委員 ・実績を集計する際、同じ集計方法であれば、問題ないのではないのでしょうか。</p> <p>■部会長 ・重点プロジェクトについても、承認することとして、本日の部会を終了する。その他、何かありますか。</p> <p>◎事務局 第8回総務部会を7月7日（木）に開催させて頂く。基本構想の総論の部分の議論をお願いしたい。</p> |
| 決定事項等 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の構成 ・重点プロジェクト |

